

活躍する南丹市の人びと

市民の皆さんが活躍する南丹市に――。

このコーナーでは、まちづくりにおけるさまざまな分野で活躍される市民の皆さんを紹介します。

キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰

園部中学校

園部中学校が「平成30年度キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰」を受賞されました。キャリア教育とは、自らの将来を考え、生きる力や働く意義の理解を進める取り組みのことで、園部中学校では地域住民とともに組織する「園部中学校の未来を考える会」で教育内容を企画されています。

各学年に応じて地域と連携した勤労体験や働く卒業生から職業について学ぶ「ようこそ先輩」などの取り組みが評価され、今回の受賞となりました。

園府校長は「地域の皆さんとの連携・協力のもと、生徒にはキャリア教育を通して、夢や期待を持ちながら、将来どんな職に

就きたいか、そのためにはどのように勉強に取り組むのか、今後の進路を切り開いていってほしい」と展望を話されました。

キャリア教育を進める園部中学校。昨年は数多くの生徒が賞を受けておられます。代表して取材を受けていただいた3人を紹介します。

朝鮮人権侵害問題啓発週間 作文コンクール 優秀賞

高屋 瞳華さん

中学生部門では、全国から4千点以上の応募があり、高屋さんは優秀賞を受賞されました。高屋さんは社会科で拉致問題を取り扱ったDVDを視聴され、「学校や地域などの周囲の人にもっと興味を持ってほしい」と感じたことをきっかけに作文を書かれました。

ました。

平成28年度には「北方領土に関する全国スピーチコンテスト」で審査委員特別賞を受賞されている高屋さんは「普段の暮らしがあたり前と思わずに、見つめ直していきたい」と話されました。

京都丹波美術工芸教育展 京都府知事賞

谷口 音愛さん

同工芸展「平面作品の部」では、京都府内から817点の応募があり、谷口さんは京都府知事賞を受賞されました。応募作品の題材として摩気神社を選ばれ、

「中学校最後の年となり、町内外でも有名な摩気神社を描きたい」「普段は気にしないとこれまで注意して見て、気付かされたところが多くあった」と作品への思いを述べられました。

平成27年開催の同工芸展では南丹教育委員会連絡協議会長賞を受賞されており、「今回は知事賞を受けることができ、家族や友人とも喜んでいきます」と話されました。

第13回北方領土と私たち作文 コンクール 京都府知事賞

日下部 理子さん

京都府内から1519点の応募があり、京都府知事賞を受賞されました。夏休み中に、北方領土青少年等現地視察事業に参加され、根室市納沙布岬から国後島や歯舞諸島を見られたり、元島民からの話を聞かれたりしました。「現地では『北方領土返還』の文字が道路や各所で見る事ができましたが、京都ではなかなか見当たらない」と意識の違いを感じられたそうです。

人権意識について、「まずは自分が当事者意識を持ち、友人や家族、そして周囲の人に広げ発信してほしい」と話されました。



▲(左から)高屋さん、谷口さん、園府先生、日下部さん